

## 第3章 生活大県プロジェクト

- 1 地域医療充実プロジェクト
- 2 暮らしの安全・安心プロジェクト
- 3 社会全体で取り組む子育て支援プロジェクト
- 4 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト
- 5 高齢者いきいき生涯現役プロジェクト
- 6 低炭素社会実現プロジェクト
- 7 泳げる霞ヶ浦再生プロジェクト
- 8 質の高いライフスタイル創造プロジェクト
- 9 競争力ある産業育成と雇用創出プロジェクト
- 10 いばらき農業成長産業化プロジェクト
- 11 アジアへ広がる観光・交流推進プロジェクト
- 12 いばらきイメージアッププロジェクト

# 1 地域医療充実プロジェクト

## 【プロジェクトの目的】

地域医療に従事する医師等の確保を促進するとともに、限られた医療資源を有効に活用するため、医療機関の役割分担のもとに連携を進め、どこに住んでいても、安心して質の高い適切な医療を受けられる体制づくりを推進します。

【主な取組内容】 ※【 】の記載は、「政策展開の基本方向」の関連する目標・政策・施策の番号です。

### 医師等の医療従事者の確保 【1-(1)- , 2-(1)-④】

全国的に医師不足が大きな課題となっている中、県内外の医科大学への寄附講座の開設など医科大学との連携により医師確保を図るほか、医学部への茨城県地域枠の設置や高校生に対する医学部進学支援などにより人材の育成を進めるなど、総合的な医師養成・確保対策を推進します。

また、看護職員などの保健医療従事者についても、県立看護師等養成施設や県立医療大学の充実のほか、病院内保育所に対する支援等による県内定着や再就業の支援などにより、質の高い保健医療従事者の養成・確保を推進します。

### 救急医療（搬送）体制の充実 【1-(1)- , 1-(2)- , 1-(4)-③】

救命救急センターの整備をはじめ、消防機関と医療機関の情報共有、ドクターヘリの隣接県との広域利用などによる有効活用の促進、幹線道路網の整備等による救急医療機関へのアクセス確保などに取り組み、広域的な救急医療・搬送体制の充実を図ります。

### 生活習慣病対策の充実 【1-(1)-⑥】

若年期からの運動習慣の普及や食生活の改善などを図り、生涯にわたる健康管理や健康増進への取組を支援し、生活習慣病の予防対策を推進します。

### がん対策の充実 【1-(1)- , 3-(1)-①】

がんに関する正しい知識と予防の普及啓発、がん検診の推進を図るとともに、がん診療連携拠点病院を中心とした質の高いがん医療の提供体制の整備などにより、総合的ながん対策を進めます。

### 感染症対策の充実 【1-(1)- 】

新型インフルエンザなどの感染症の予防やまん延防止のための各種取組を推進するとともに、エイズ・感染症に関する正しい知識の普及啓発、相談・検査体制の充実を図ります。

### 医療機関の役割分担と連携の推進 【1-(1)-①】

身近な地域で日常的な医療サービスが受けられ、健康相談等もできる「かかりつけ医」の普及・定着を進めるとともに、中核的な医療施設を拠点とした保健医療の充実を図り、医療機能の分担・連携によって各地域において切れ目のない医療を受けられる体制づくりを進めます。

**【数値目標】**

検討中

## 2 暮らしの安全・安心プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

犯罪や交通事故，自然災害，食の問題など，県民生活を取り巻く様々な不安を取り除き，誰もが安全で安心して暮らすことができる地域づくりに多様な主体が連携して取り組みます。

### 【主な取組内容】

#### 安全・安心な地域づくり活動への参加促進 【1-(4)- 1】

「大好き いばらき県民運動」に関する情報提供や啓発などにより，県民の地域活動への参加を促進し，地域コミュニティの再生・活性化を進めるとともに，ボランティア，NPO，企業など様々な活動団体が交流・連携するネットワークを強化し，安全・安心な地域づくりに向けた活動を推進します。

#### 治安対策の充実 【1-(2)- 1】

犯罪の取締り強化はもとより，防犯ボランティアなど地域住民，市町村及び事業者等と連携して県民の防犯意識の高揚を図り，犯罪マップなどの地域安全情報を活用し，犯罪が起きにくい安全・安心な地域づくりに向けた取組を推進します。

#### 交通安全対策の充実 【1-(2)- 2， 1-(4)- 2】

交通安全ボランティアや関係団体との連携・協力により，県民の交通安全意識の啓発と交通マナーの向上を県民運動として展開するとともに，交通指導取締りの強化，交通危険箇所の改修など道路整備や信号機の新設・高度化など交通安全施設の整備を進めます。

#### 自然災害等に対する地域防災力の向上 【1-(2)- 3】

地震や洪水，突発的な局地的大雨など自然災害に対する備えとして，防災訓練の実施や防災備蓄資機材の整備・維持，ハザードマップの作成・支援，ITを活用した迅速な災害情報の収集・伝達体制の充実，公共施設の耐震化など災害に強い県土づくりを推進するほか，地域の自主防災組織の育成強化などを進めます。

#### 食の安全・安心確保対策の推進 【1-(2)- 4】

県，事業者や県民が協働しながら，生産から流通，消費に至る各段階での食品の検査及び監視を強化するなど，食の安全・安心対策を総合的に推進します。

#### 「新しい公共」の活動推進 【3-(2)- 1】

複雑化・多様化する県民ニーズに対応していくため，地域を担う多様な民間主体と行政が協働して公共サービスを提供する「新しい公共」の考え方にに基づき，県民のボランティア活動への参加促進や多様な民間主体によるソーシャルビジネスの育成・支援等を図るとともに，大学・研究機関や民間企業等と連携・協働した施策を推進します。

**【数値目標】**

検討中

## 3 社会全体で取り組む子育て支援プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

安心して子どもを生き育てることができる環境をつくるため、子育て支援拠点の充実や仕事と子育ての両立に向けた雇用・就業環境の整備などにより、社会全体で子どもを守り育てる仕組づくりを推進します。

### 【主な取組内容】

#### 未婚の男女の出会いの場づくり 【1-(1)-②】

いばらき出会いサポートセンターを核として、地域における出会いの相談・仲介などを行うマリッジサポーターや市町村、関係団体と連携しながら、結婚を希望する男女の出会いの場づくりを積極的に進めます。

#### 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備 【1-(1)- 〃 】

周産期・小児医療体制の充実や院内助産所等の整備促進のほか、妊産婦・小児の医療費や不妊治療費の助成、子育て家庭を支援する家族優待制度の充実など、妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを生き育てることのできる環境を創ります。

#### 子育て支援の充実 【1-(1)- 〃 】

ファミリー・サポート・センターなどの地域における子育て支援サービスの充実を図るほか、待機児童解消に向けた保育所整備や多様で質の高い保育サービスの提供、幼児教育と保育の総合的な提供、放課後における子どもの居場所づくりなど、地域全体で子育てを支援する基盤づくりを一層促進します。

#### 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 【1-(1)- 〃 ， 3-(2)- 〃 】

仕事と子育ての両立に向け、ワーク・ライフ・バランスの機運の醸成・意識改革、男性の家事・育児への参加などを進めるとともに、男女がともに働きながら育児休暇等の制度を利用しやすい職場環境づくり等について、企業への表彰制度などを活用し、企業自らの積極的な取組を一層促進します。

#### 子どもの人権を尊重する意識の醸成 【2-(3)- 〃 】

児童虐待の早期発見・早期対応に向けた、医療機関・学校・市町村等関係機関との連携システムの対応強化などによる児童虐待対策を推進するとともに、地域における児童相談体制の強化や社会的養護体制の充実を図ります。

また、不登校やいじめなど様々な悩みを抱える子どもに対する学校での適切な生徒指導・相談体制の充実を図ります。

**【数值目標】**

検討中

## 4 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

次代を担う子ども・若者が心身ともに健やかに育つよう、一人ひとりの個性や能力を伸ばしながら確かな学力を備え、コミュニケーション能力や社会における生きる力など、自立していく上で必要な資質をはぐくむ教育に取り組み、いばらきの未来を担う人づくりを進めます。

### 【主な取組内容】

#### 学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付けさせる教育の充実 【2-(1)- 】

茨城独自の少人数学級編制やティーム・ティーチング、習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導体制を充実し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るほか、学習意欲の向上や思考力・判断力・表現力の育成などを通じて、確かな学力の定着・向上を推進します。

#### 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進 【2-(1)- ・ , 2-(2)- 】

高等学校等における道德教育による規範意識や公共マナーの高揚を通じて、命を大切にする心や他人への思いやる心を育成するとともに、他者との豊かなコミュニケーション能力や自己選択・自己責任で行動できる力を育成します。

また、自然や伝統文化・芸術等の体験学習や外遊びや運動・スポーツ活動の機会の拡充などにより、豊かな人間性の育成を図ります。

#### 国際社会で主体的に行動できる人材の育成 【2-(1)- 】

学校教育などにおける国際交流の機会を通じて、国際理解教育を推進し、グローバルな視野の育成と異文化に対する理解をはぐくむとともに、外国語でのコミュニケーション能力の向上や外国語で自分の考えを主張できる資質や能力を身に付けさせ、国際社会で主体的に行動できる人材の育成を図ります。

#### いばらきの科学技術を担う人づくり 【2-(1)- ・ , 3-(1)- 】

科学技術に親しむ機会の提供などにより、理数に対する興味・関心の向上や科学的思考力の育成を図るとともに、科学教育に重点を置いた中等教育学校や併設型中高一貫校の設置など、科学技術を担う人材の育成を図ります。

#### いばらきの産業を担う人づくり 【2-(1)- ・ , 2-(1)- , 3-(2)- 】

将来、社会人として自立していくことができるよう、本県の多様な地域資源を活用しながら、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観をはぐくむキャリア教育を推進するとともに、就業に必要な職業能力等の育成・支援を行い、企業ニーズなどに対応できる人材の育成を図ります。



## 青少年・若者の自立支援【2-(3)- , 3-(2)-】

青少年・若者が心身ともに健やかに成長できる環境の整備を進めるとともに、ニートやひきこもりなど社会生活を円滑に営む上で困難を有する青少年・若者への支援や、若者を対象とした職業訓練や就職相談など就職支援の充実を図り、青少年・若者の自立に向けた取組を推進します。

### 【数値目標】

検討中

## 5 高齢者いきいき生涯現役プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

高齢者が健康で自立した生活を送るとともに、これまで培ってきた豊かな知識や経験を地域社会で活かすことができ、いつまでもはつらつと生きがいを持って生涯現役で活躍できる社会づくりを推進します。

### 【主な取組内容】

#### 社会活動への参加促進 【2-(3)-④】

高齢者が培ってきた豊富な知識や経験を十分に発揮し、地域社会を支える重要な一員として生きがいをもって活躍できるよう、地域貢献活動などへ積極的に参加できる環境整備を推進します。

#### 高齢者の就職支援 【2-(3)- 】

企業の雇用年齢の引き上げに関する制度の啓発・普及を図るとともに、高齢者が意欲や能力に応じて就業できるよう、再就職の支援やシルバー人材センターの活用などにより、多様な就業機会の提供を図ります。

#### 世代間交流の促進 【2-(1)- ， 2-(2)- ， 2-(3)- 】

ものづくりマイスターの活動等を通じて優れた技能・技術を次世代への伝承を促進するとともに、地域・学校・高齢者福祉施設などにおける世代間の様々な体験活動の充実を図り世代間交流を促進します。

#### 生涯学習・生涯スポーツの推進 【2-(2)- ， 2-(3)- 】

高齢者が生きがいを持って健康で活動的な生活を送れるよう、生涯学習のネットワーク化による情報提供や多様な学習機会の充実、茨城わくわくセンターの健康・生きがいづくり事業などへの支援を進めます。

#### 介護予防と健康づくり 【1-(1)- 】

高齢者が健康で活動的な生活を送れるよう、シルバーリハビリ体操の普及など介護予防対策を推進するとともに、ヘルスロードの活用促進などによる県民総ぐるみの健康づくり運動を推進します。

#### 生活交通の確保等による高齢者の生活支援 【1-(1)-③】

高齢者が通院や買い物など暮らしに必要な移動手段を確保できるよう、多様な主体と連携して生活交通の維持・確保に努めるとともに、商品の宅配や移動販売など高齢者の生活を支える支援システムの構築を推進します。

**【数値目標】**

検討中

## 6 低炭素社会実現プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

豊かな環境を次世代に引き継ぐため、県民総ぐるみによる地球温暖化対策を推進するとともに、本県に集積された科学技術を活かしたグリーンイノベーション（環境エネルギー分野革新）を推進し、低炭素社会の実現に先導的に取り組みます。

### 【主な取組内容】

#### 省エネルギー対策の推進 【1-(3)- ・ , 3-(4)- 】

地球温暖化対策に向けた環境保全運動を県民運動として積極的に展開するとともに、温室効果ガス排出量の削減に向けた県民一人ひとりのライフスタイルの転換や、企業の事業活動の見直しなど、県民や企業の主体的な取組による省エネルギー対策を推進します。

また、県有施設における省エネルギー対策を進めるとともに、次世代自動車の率先導入を推進します。

#### グリーンイノベーション創出と再生可能エネルギーの導入促進 【1-(3)- ・②, 3-(1)- 】

つくば・東海地区の科学技術の集積を活かし、低炭素社会の実現に不可欠な燃料電池やリチウムイオン電池などの革新的技術の研究・開発を推進するとともに、太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進します。

#### 廃棄物の発生抑制等の推進 【1-(3)- 】

廃棄物の発生抑制、適正な循環的利用及び適正処理を推進します。

#### 交通関連対策の推進 【1-(3)- , 1-(4)- , 3-(4)- 】

マイカー自粛キャンペーンやモビリティマネジメントの推進による公共交通機関の利用促進をはじめ、次世代自動車の普及促進やモーダルシフトの推進、交通渋滞対策などにより二酸化炭素排出量の削減を進めます。

#### 森林吸収源対策の推進 【1-(3)- ・④】

森林湖沼環境税を活用した間伐の実施や平地林・里山林の整備など、二酸化炭素を吸収する健全な森林の保全を図るとともに、公共施設等への県産材の利用を促進します。

#### 環境学習の推進 【1-(3)-①】

環境負荷の少ない持続可能な社会の構築に向け、県民協働による環境学習を促進するとともに、関係団体と連携しながら、家庭や学校、地域における環境保全活動を推進します。

**【数値目標】**

検討中

## 7 泳げる霞ヶ浦再生プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

広大で多様な機能を有する霞ヶ浦の良好な水環境を創出するため、流域住民、事業者などと一体となって汚濁負荷の削減に取り組み、更なる水質浄化対策を推進するとともに、水辺や水面を活かした多様な交流空間を活用し、霞ヶ浦の魅力づくりを推進します。

また、人々に安らぎと潤いを与えてくれる、本県の自然豊かな河川や海岸などについても、水辺環境の保全や利用の推進に取り組みます。

### 【主な取組内容】

#### 水質保全対策の推進 【1-(3)- , 1-(4)- , 3-(3)-①】

市民・研究者・企業及び行政の四者のパートナーシップのもと、調査研究・環境学習・市民活動など地域一体となった水質浄化活動を促進します。

また、汚濁負荷の削減に向け、下水道及び農業集落排水施設の整備と接続の促進、高度処理型浄化槽の設置促進などの生活排水対策をはじめ、農地や市街地等から流入する汚濁負荷の削減対策を、森林湖沼環境税を活用するなどにより一層推進します。

さらに、流入河川の水質浄化対策を進めるとともに、霞ヶ浦導水事業の促進による水質浄化を推進するほか、水質浄化機能を持つ森林の適切な整備・保全を図ります。

#### 潤いのある水辺空間の活用 【1-(3)- , 3-(4)- 】

霞ヶ浦特有の豊かな自然環境を活かしながら、散策や休息、スポーツなどができる魅力ある水辺空間の活用を推進するとともに、水生植物帯の保全・再生や緑地の保全を図ります。

#### 観光・交流の推進 【2-(2)- , 3-(4)- 】

恵まれた自然環境や観光帆引き船、サイクリングロードなどの地域資源を活かし、霞ヶ浦を核としたエコツアーやレクリエーションなどの観光や交流を促進します。

#### 河川等の水辺環境の保全 【1-(3)- 】

家庭や工場・事業所等の排水対策を進め、河川・海域の水質保全を図るとともに、景観の調和、生態系の保全などに配慮した河川や海岸の整備を推進し、県民に豊かな親水空間を提供します。

**【数値目標】**

検討中

## 8 質の高いライフスタイル創造プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

水と緑に恵まれた豊かな自然環境や、温和な気候、災害が少なく平坦で広大な土地を有し首都圏に近い地理的条件、さらには、特徴ある歴史や伝統・文化など、茨城の魅力を活かしたライフスタイルを提案するとともに、様々な価値観に応じた質の高い暮らしが実現できるよう環境づくりを推進します。

### 【主な取組内容】

#### 豊かな“食”による暮らしの充実 【3-(3)-①・・・・⑥】

茨城県は多くの動植物の北限・南限にあたり、多彩で豊富な農林水産物に恵まれています。こうした新鮮でおいしい食材を身近に触れられるよう直売所等を核とした地産地消を推進するとともに、市民農園やクラインガルデンなどの農林水産業体験の場づくりを促進し、茨城の恵まれた食による豊かな暮らしを推進します。

#### 科学や芸術を活かした文化的な暮らしの推進 【3-(1)- ， 2-(2)- ③】

つくばや東海の最先端の科学技術に触れる機会の充実を図るとともに、自然博物館や美術館における企画展の充実などにより、科学や芸術に身近に感じられる環境づくりを進めます  
また、様々な生涯学習活動に取り組めるよう県内4ヶ所の生涯学習センターを核とした生涯学習環境の充実を図ります。

#### 地域の特色を活かした賑わいのあるまちづくりの推進 【1-(4)- ， 3-(4)-②】

住民自らの地域づくりへの参加を促進し、それぞれの地域が有する歴史や伝統、文化など様々な資源を活かしたイベントの開催や良好な景観の形成、さらには、空き店舗の活用などによる中心市街地の再生など、地域の特色を活かした賑わいのあるまちづくりを推進します。

#### 人にやさしい地域づくり 【1-(1)- ， 1-(4)- ③】

高齢者や障害者などが自宅で自立した生活を送れるよう、バリアフリーに対応した住環境の整備の促進をはじめ、誰もが利用しやすい公共交通や交通環境の整備の推進など、ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしい地域づくりを推進します。

#### 魅力あるライフスタイルの発信 【3-(4)-②】

つくばエクスプレス沿線地域では、知的な環境の中で充実した都市機能と豊かな自然を享受しながら、人々が自分の希望に合わせて、住み、働き、学び、遊ぶことができる「つくばスタイル」のブランド力の強化を図り、魅力的なまちづくりを推進します。

また、県北地域等の豊かな自然環境のもと、都市住民が地域とふれあいながら、思い思いのスローライフを楽しむ「いばらき さとやま生活」を積極的に発信することにより、魅力的な地域ブランドイメージを構築し、移住や交流・二地域居住を促進します。



**【数値目標】**

検討中

## 9 競争力ある産業育成と雇用創出プロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

戦略的な企業誘致の推進や中小企業の支援等による県内産業の競争力の強化により、産業の集積と活性化を図るとともに、生活の基盤である雇用をしっかりと確保します。また、本県の有する最先端科学技術の集積を最大限に活用しながら、国際競争力の源泉となる産業イノベーションを創出します。

### 【主な取組内容】

#### 国際的な最先端科学技術拠点の形成 【3-(1)- 】

つくば・東海地区などにおける科学技術の集積効果を高めるため、研究機関の連携・融合や国内外の研究者の交流を促進し、多様な新産業を創出する最先端科学技術の研究開発拠点を形成します。

特に大強度陽子加速器(J-PARC)の中性子ビームの産業利用を積極的に推進することにより、新世代材料や新薬の開発などに係る先端技術の創出を図ります。

#### 国際競争力ある産業の集積促進 【3-(1)- , 3-(2)- 】

つくば・東海・日立・鹿島地区などの知的集積や産業集積を活用しながら、本県の地域経済に高い波及効果のある企業の戦略的な誘致を推進するとともに、中小企業の新分野進出や販路拡大、企業間の連携を支援するなど、国際競争力ある産業の集積・活性化を図ります。

#### 新事業・新産業の創出 【3-(1)- 】

本県の科学技術や優れたものづくり技術の集積を活かし、環境、医療・介護、ロボット等の新たな産業分野において、世界をリードするベンチャー企業の創出を図るとともに、つくば研究支援センターなど支援機関との連携を強化し、企業の成長段階に応じた支援を推進します。

#### 地域経済を支える商工業の育成 【3-(2)-②・ 】

中小企業の新商品や新サービスの開発など、新たな事業活動による経営革新の取組を促進するとともに、中小企業の経営安定化に向けた融資制度の充実、企業間の連携による生産性向上など経営力の強化を図り、競争力ある中小企業を育成します。

また、ものづくり産業の育成を図るため、中小企業のニーズに対応した技術支援を行う工業技術センターの試験・分析機器や施設整備の充実を図るとともに、中小企業の新技術や新製品の開発を支援します。

商業については、中心市街地の活性化に向けた市町村や商工団体の取組を支援し、地域の特色を活かした商店街の賑わいづくりを促進します。

### **総合的な就職支援 【3-(2)- ・ 】**

いばらき就職・生活総合支援センターにおいて、就職活動に必要なサービスの一元的な提供など総合的に就職支援を行います。また、多様化した労働者の就業形態や新たな産業等のニーズに対応した職業能力開発による再就職の支援を進めます。

### **多様で高度な人材の育成・確保 【2-(1)- 】**

将来にわたり本県の産業を担う人材を確保するため、情報通信技術者など企業のニーズに応じた高度で実践的な人材を育成するとともに、優れた外国人技術者・研究者の招致による人材の確保を推進します。

#### **【数値目標】**

検討中

# 10 いばらき農業成長産業化プロジェクト

## 【プロジェクトの目的】

安全・安心で高品質な農産物を提供し、消費者の信頼に応えられる茨城ブランド力の向上を図り、儲かる農業の実現による経営の安定化と本県農業を支える担い手の育成により食料供給力を強化し、全国をリードする農業大県いばらきづくりを進めます。

## 【主な取組内容】

### 安全・安心な農産物の安定供給 【3-(3)-①】

安全な農産物を求める消費者ニーズに応えるため、生産履歴記帳の徹底や適正な生産管理を行うための農業生産工程管理（GAP）の普及を図るとともに、消費者への生産履歴や産地情報等の積極的な情報発信、学校や家庭での食育を推進することにより、生産・消費相互の信頼関係を構築し、消費者に支持される高品質で安心な農産物を安定して供給します。

また、生産者と消費者との距離の近い直売所などを通じた地産地消を推進します。

### 儲かる農業による経営の安定 【3-(3)-③】

本県農業を魅力ある産業として発展させるためには、農業者が儲かる経営環境を整えることが重要です。そのため、高品質で商品価値の高い農産物づくりと同時に農業経営者としてのコスト管理の徹底を図った上で、販売力の強化による経営の安定を推進します。

また、県内の大学や公的研究機関などとの産官学連携を強化し、消費者や生産者が求める新品種・新技術などの開発や普及を推進します。

### 農産物の高付加価値化と販売力の強化 【3-(2)-⑤, 3-(3)-②】

茨城の顔となる農産物や品質向上、環境保全に配慮した取組の見える化などを消費者に積極的にPRし、本県農産物全体のイメージアップを図るとともに、食品産業や観光産業との連携による加工品などの新商品の開発を推進します。

また、今後の市場拡大が期待できる中国をはじめとしたアジアを対象に、農業団体などの農産物・加工品の輸出の取組を促進します。

### 地域農業を支える多様な担い手づくり 【2-(1)-⑤, 2-(3)-③, 3-(3)-③】

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織の育成・確保を図るとともに、若者など新規参入者へのきめ細やかな就農支援、さらには地域の実情に応じた企業やNPOなどの農業参入を進めるほか、高齢化した中核農家の技術・資本を活用する仕組みづくりなど、多様な担い手育成の取組を推進します。

**【数値目標】**

検討中

# 11 アジアへ広がる観光・交流推進プロジェクト

## 【プロジェクトの目的】

北関東自動車道などの広域交通ネットワークの整備効果を活かしながら、本県の魅力を様々な手法で効果的に情報発信し、広域的な観光・交流を促進するとともに、茨城空港などを活用して発展著しいアジア地域などからの観光客の誘致を促進し、大交流拠点の形成を目指します。

## 【主な取組内容】

### 多彩な観光の推進 【3-(4)-①】

近隣都県と連携した広域観光ルートの形成をはじめ、茨城空港の就航先における現地事務所等の活用や観光プロモーションなどの宣伝・誘客活動を推進し、多様化する観光ニーズに対応した誘客や情報発信を図ることにより、国内外からの観光客の拡大を図ります。

### 観光客受入体制の整備 【3-(4)-①】

多言語表示の案内標識の整備や通訳ボランティアの育成など、外国人観光客が安心して宿泊、観光ができる受入体制の充実を図るとともに、ホスピタリティあふれる人材の育成など観光客の満足度を高める環境の整備を進めます。

### 茨城空港の利活用 【3-(4)- 】

茨城空港におけるローコストキャリアを含む国際定期便、チャーター便等の誘致を推進するとともに、既存の就航路線の一層の利用促進に努め、路線拡充や増便を促進します。

### 交流を支える広域交通ネットワークの充実 【3-(4)- . . . 】

広域にわたる地域交流・連携を促進するため、東関東自動車道水戸線などの高速道路や地域の広域的な幹線道路の整備を計画的に進めます。また、茨城港・鹿島港の定期航路の充実や港湾機能の強化を図り、高速道路網を活用した新たな物流ルートの構築を目指します。

### 国際社会で活躍できる人材の育成 【2-(1)- 】

外国人留学生等との国際交流機会の提供、海外文化の紹介などにより、国際理解を促進するとともに、外国語でのコミュニケーション能力の向上を図り、国際社会で活躍できる人材の育成を図ります。

**【数值目標】**

検討中

## 12 いばらきイメージアッププロジェクト

### 【プロジェクトの目的】

県全体が一丸となって県内外へいばらきの魅力的な情報を発信し、本県のイメージアップを図るとともに、県民の自信や郷土への誇り、愛着心の醸成をはぐくみ、行きたい、暮らしたい県として選ばれるいばらきを目指します。

### 【主な取組内容】

#### インターネットを活用した「県民総発信」に向けた取組強化 【3-(4)-②】

双方向性があり、クチコミでの広がりにも大きな効果が期待できるインターネットを活用し、ブログやツイッターなどで情報を積極的に発信するとともに、ウェブを活用した市民参加によるPRプロジェクトなどを実施し、国内外に向け県民総参加によるいばらきの魅力発信を目指します。

#### 選んでもらえる強いブランドづくり 【3-(4)-①・②】

地域間競争が激化する中で、県民、企業、市町村や関係団体との連携を一層強化し、本県の優れた自然・歴史・文化・科学技術といった多様な地域資源を活用した、本県独自の地域ブランドの構築を推進します。

また、本県の特長や特色ある取組など優れた地域資源を積極的に情報発信するとともに、フィルムコミッション活動の推進などにより、本県のイメージアップや認知度を向上させ、「選ばれるいばらき」を目指します。

#### メディアへの情報発信力の強化 【3-(4)-①】

本県への誘客や県産品の販売促進に効果が高い首都圏メディアへの露出拡大を図るため、広報宣伝活動の庁内連携や民間の手法を活用したメディアへの働きかけなど戦略的な情報発信を強化します。

#### いばらきサポーターづくり 【3-(4)- 】

本県の魅力や良さを様々な機会を通じて広く県外へPRしてもらえよう、「いばらき大使」などの応援団を活用するとともに、地域におけるホスピタリティの向上によるリピーターやいばらきのファンづくりを進めます。

#### いばらきへの愛着心の醸成と県民運動の展開 【3-(4)-①】

学校教育において年代に合わせた郷土教育の充実を図るとともに、県民がいばらきの魅力についてより一層理解を深めることができるような取組を推進し、いばらきへの愛着心を醸成し、いばらきの魅力を県内外に発信するための県民運動の展開を目指します。



**【数值目標】**

検討中